

令和6年度（家庭基礎） シラバス

教科	家庭	科目	家庭基礎		
単位数	2	学年	1	類型	共通
教科書	家庭基礎 自立・共生・創造 (東京書籍)		副教材	家庭科ノート・調理実習ノート (愛媛県高等学校家庭科教育研究会)	
学習目標	生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を通して、様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、男女が協力して主体的に家庭や地域の生活を創造する資質・能力を養う。				

授業計画

	学習内容	学習のねらい
1 学期	第1章 生涯を見通す 第2章 人生をつくる 第3章 子どもとともに育つ	<ul style="list-style-type: none"> ・ライフプランの作成を通して、課題を考察し、生活を工夫したり創造したりする。 ・家族・家庭について社会環境の変化や課題について理解し、家庭や地域及び社会の果たす役割について考察し、課題解決に主体的に取り組もうとする。 ・乳幼児と適切に関わるための技能を身に付け、家庭や地域及び社会の果たす役割について考察し、課題解決に主体的に取り組もうとする。
2 学期	第4章 超高齢社会を生きる 第5章 共に生き、共に支える 第6章 食生活をつくる	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢期の生活と福祉について理解し、家庭や地域及び社会の果たす役割について考察し、課題解決に主体的に取り組もうとする。 ・共生社会と福祉について理解し、家庭や地域及び社会の果たす役割について考察し、課題解決に主体的に取り組もうとする。 ・食生活と健康について、栄養的特質や目的に応じた調理技能等について理解し、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。
3 学期	第7章 衣生活をつくる 第8章 住生活をつくる 第9章 経済生活をつくる	<ul style="list-style-type: none"> ・衣生活と健康について、健康で快適な衣生活に必要な知識や技能を理解し、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。 ・住生活と住環境について、適切な住居の管理や防災などの安全や環境に配慮した住居の機能について理解し、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。 ・生活における経済の計画、消費行動と意思決定について理解し、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。

評価の観点及び内容、評価方法

評価の観点及び内容		評価方法
知識・技能	生活を主体的に営むために必要な人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活、環境などの基礎的なことについて理解するとともに、それらに係る技能を身に付けている。	<ul style="list-style-type: none"> ・定期考査 ・ワークシート

<p>思考・判断・表現</p>	<p>生涯を見通して、家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・定期考査 ・ワークシート
<p>主体的に学習に取り組む態度</p>	<p>様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために実践しようとしている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ホームプロジェクト ・一日家事体験 ・振り返りシート